

全国健康保険協会愛知支部の肝炎ウイルス検査受検促進事業

研究分担者：井上 貴子 名古屋市立大学病院 中央臨床検査部
研究協力者：山本 芳和、北野 忠弘 全国健康保険協会 愛知支部
研究協力者：辻村 眞利慧、平山 達也、山本 功、長尾 治 愛知県 健康対策課
研究協力者：田中 靖人 名古屋市立大学大学院医学研究科 病態医科学

研究要旨：2018 年度より全国健康保険協会愛知支部では、肝炎ウイルス検査受検促進事業を開始した。愛知県健康対策課・愛知支部・肝疾患診療連携拠点病院は連携し、受検率増加の実績がある研究班で作成したチラシでの受検勧奨を採用した。健診医療機関が被保険者に健診案内を送付する際、チラシを同封する方法で受検勧奨を行なう。

愛知支部の肝炎検査受検率は事業開始前 1.1%であった。事業開始後 2018 年 4 月の受検率は 2.6%、その後漸増し、約 4%で停滞した。事業開始後も受検率が 1%未満の医療機関が 49%(75/152 施設)あり、ヒアリングでチラシを使っていないことが分かった。チラシの使用状況に関するアンケート調査の結果から、文言が自施設と合わない施設が多いと分かり、2019 年度より医療機関に合わせて文言を変更することとした。肝炎検査陽性率は B 型肝炎 0.46%、C 型肝炎 1.06%(2018 年 4~9 月)で、C 型肝炎は名古屋市の陽性率より高率である。6 か月で B 型肝炎・C 型肝炎合計 145 名の陽性者が発見された。2019 年度から、愛知支部の肝炎医療コーディネーターが陽性者への受診勧奨を行なう。

愛知支部では可能な限り各医療機関に合わせた受検勧奨を支援する。チラシを使用しづらい医療機関には他の勧奨方法の併用も考慮しながら、受検率 10%を目標に本事業を継続し、陽性者を受診・受療につなげる方針である。

A. 研究目的

全国健康保険協会（協会けんぽ）は、国民の 3,900 万人（2018 年 12 月現在）が加入しており、わが国最大の公的医療保険を運営する公法人である。協会けんぽ愛知支部は被保険者数約 145 万人、被扶養者数約 101 万人、加入者総数約 246 万人（2018 年 1 月現在）と、東京、大阪に次いで全国 3 番目に多くの加入者を抱える支部である。2016 年度、被保険者の 52.5%が生活習慣病予防健診または事業主健診を未受診で、被扶養者の 78.2%は特定健診未受診であった。

愛知県健康対策課では、総合的な肝炎対策を推進し、肝炎患者の肝がんへの進行の阻止と県民への肝炎の理解を向上するため、2018 年 3 月に「第 2 期愛知県肝炎対策推進計画」を策定し、肝炎対策の更なる充実を目指している。その一環として、職域における肝炎ウイルス検査の受検促進を位置づ

けている。

2018 年度より、協会けんぽ愛知支部は愛知県健康対策課、肝疾患診療連携拠点病院と連携し、肝炎ウイルス検査促進事業を開始した。これまでの成果を報告し、2019 年度からの事業内容と予想される効果について考察する。

B. 研究方法

2017 年秋より、県健康対策課・肝疾患診療連携拠点病院(名古屋市立大学病院)は協会けんぽ愛知支部と連携し、被保険者への肝炎検査受検勧奨事業内容を検討した。拠点病院は、すでに他の地域で受検率増加の実績がある厚労省研究班で作成した資料を、愛知支部に紹介した。従来のチラシから文字数を大幅に減らし、今なら低価格で受検できることを明確に記載したチラシである。協会けんぽ愛知支部では改変を加え、バス

健診の際には肝炎検査は事前申込が必要であることを追記し、従来他支部で使用されていたチラシから「612円」のフォントを一回り大きくした(図1)。チラシは、協会けんぽ愛知支部の契約健診医療機関が被保険者に健診案内を送付する際、同封する方法で配布している。

図1 愛知支部の検査勧奨チラシ



8月中旬、愛知支部の被保険者約8,600名に配信されるメールマガジンにウイルス性肝炎と検査に関する記事を掲載(図3)したが、受検率は増加しなかった。

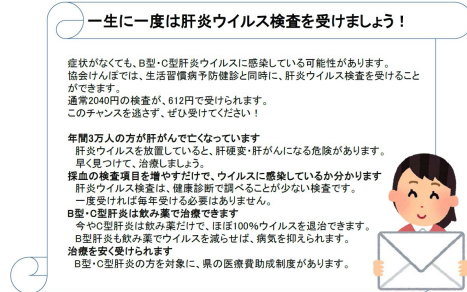


図3 メールマガジン 2018年8月22日配信

2018年4月から11月の健診委託医療機関ごとの肝炎検査受検率を調査したところ、事業開始前と同レベル(受検率1%未満)の医療機関が49%(75/152施設)あった(図4)。ヒアリングから、受検率が増加しない医療機関はチラシを使っていない可能性が高いことが分かった。

C. 研究結果

協会けんぽ愛知支部では、事業開始前2017年度の肝炎検査受検率は1.1%であった。先行地区ではチラシを使った受検勧奨で、受検率が約10倍になったため、愛知支部では受検率10%を目標とした。事業開始後2018年4月の受検率は2.6%、その後漸増し、約4%で停滞した(表1・図2)。

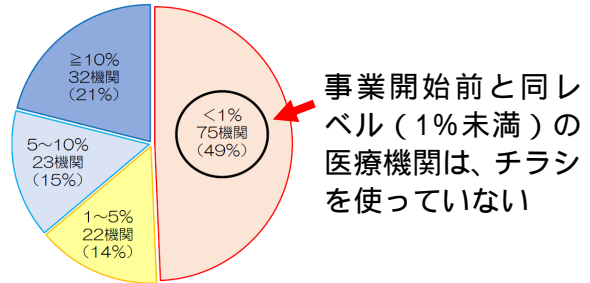


図4 委託医療機関ごとの受検率

チラシを使っていない医療機関の中には、チラシの存在や使い方を知らない担当者も多かった。そのため2019年2月の医療機関向け説明会では、愛知支部からの説明に加えて、拠点病院の医師からも受検勧奨方法を繰り返し説明した。さらに説明会の際、アンケートも行ない、チラシの使用状態・使用しない理由を調査し、医療機関名入りで返信してもらった(図5)。チラシを使わない医療機関の多くが「事前申込に関するチラシの文言が自施設と合わない」と回答したため、医療機関に合わせて文言を変更して使用することとした。

	2017年 (%)	2018年 (%)	前年比 (倍)
4月	1.05	2.59	2.48
5月	0.98	3.38	3.44
6月	1.00	3.74	3.73
7月	1.02	4.02	3.95
8月	1.38	4.06	2.93
9月	1.16	4.07	3.51
10月	1.09	3.50	3.20
11月	1.14	3.99	3.50
計	1.10	3.73	3.40

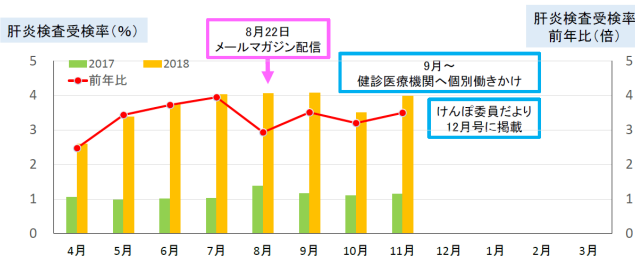


表1・図2 愛知支部の肝炎検査受検率

愛知支部の肝炎検査陽性率は B 型肝炎 0.46%、C 型肝炎 1.06% (2018 年 4~9 月) であった。名古屋市の肝炎検査での陽性率と比較し、B 型肝炎はほぼ同等であった。C 型肝炎は名古屋市では 0.5~0.8% (2015 年~2017 年度) であるため、愛知支部のほうがやや高率であった(表 2)。本事業開始後 6 か月間で B 型肝炎 46 名、C 型肝炎 99 名の陽性者が発見された。2019 年 2 月、愛知県健康対策課と藤田医科大学の主催で行われた肝炎医療コーディネーター研修会に、愛知支部の保健師も参加した。来年度からは愛知支部の肝炎コーディネーターが主体となって、陽性者に受診勧奨を行なう方針である。

肝炎ウイルス検査受検促進に向けたアンケート

本アンケートは、肝炎ウイルス検査の受検を促進するにあたり、健診機関における受検勧奨の取り組み状況について伺い、現状の実態把握とそれに対する対策を検討するための情報を得ることを目的としています。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

平成31年3月7日(木) までに、郵送又はFAX(052-856-1494)でご回答ください。

健診機関名	
ご担当者名	

(質問1) 肝炎ウイルス検査申込チラシの問診票セットへの同封について (回答欄)

① 申込チラシを全ての生活習慣病予防健診受診者の問診票セットに同封していますか?	1.入れている 2.入っていない	
【①で 2.入っていない にご回答された機関様にかがいます】		
② 申込チラシを問診票セットに同封していない理由は何ですか?	1.知らなかった 2.同封しない理由がある(理由) 3.その他()	

他支部で実施した結果、申込チラシを問診票セットに同封するだけで受検率が約10倍増加します。今後は必ず問診票セットへ同封をお願いいたします。問診票セットへの同封が不可能な健診機関様は、恐れ入りますが愛知支部までお申出ください。

(質問2) 陽性者に対する受診勧奨について (回答欄)

③ 陽性者に対して受診勧奨を行っていますか?	1.行っている 2.行っていない	
【③で 1.行っている にご回答された機関様にかがいます】		
④ 行っている受診勧奨方法はどれですか?	1.文書 2.電話 3.その他()	

ご協力ありがとうございました。

図 5 チラシ使用状況に関するアンケート

期間	検診受診者数	HBV			HCV		
		受検者数	陽性者数	陽性率 (%)	受検者数	陽性者数	陽性率 (%)
4月	25,950	775	4	0.52	664	10	1.51
5月	44,001	1,652	11	0.67	1504	7	0.47
6月	52,637	2,049	8	0.39	1973	23	1.17
7月	47,808	2,023	7	0.35	1912	28	1.46
8月	38,226	1,639	7	0.43	1541	26	1.69
9月	43,306	1,878	9	0.48	1766	5	0.28
合計	251,928	10,015	46	0.46	9360	99	1.06

表 2 愛知支部の肝炎検査陽性率

D. 考察

2018 年度より協会けんぽ愛知支部は、すでに他の地域で受検率増加の実績がある厚生労働省研究班で作成したチラシを用いて、肝炎検査受検勧奨を開始した。本事業は愛知県健康対策課、愛知支部、拠点病院の三者の連携の下で行なわれている。愛知支部は直接受検勧奨に携わり、県健康対策課は国への報告・陽性者の受診や医療費助成の相談窓口となり、拠点病院は主に資材やアイデアの提供・問題提起を行なっている。

被保険者の健診受診案内にチラシを入れて郵送するというシンプルな事業であるが、現時点での受検率は目標の 10%に及ばず、今後事業の見直しが必要である。

当初愛知支部の受検率が伸び悩んだ際、研究班の有識者より、チラシの「612 円」のフォントを拡大したことが原因ではないかとコメントをいただいた。検証を行なうため、愛知支部の委託医療機関の中で、2018 年 4 月から 11 月の 8 か月間の健診受検者数が 10,000 名以上の医療機関 7 施設のデータを検討した。7 施設は受検率が高い 2 施設

- ・ 名古屋 D : 7.15% [1,155/16,162]
- ・ 岡崎 A : 9.46% [1,419/14,998]

受検率が低い 5 施設

- ・ 豊明 : 0.07% [11/16,269]
- ・ 名古屋 B : 0.55% [68/12,256]
- ・ 半田 A : 0.45% [48/10,775]
- ・ 安城 B : 0.12% [13/10,689]
- ・ 名古屋 A : 0.30% [31/10,179]

に分かれた。受検率が低い 5 施設はチラシを使用していなかった。受検率が高い 2 施設に受検勧奨方法を尋ねたところ、健診受診案内にチラシを同封する以上の受検勧奨はしていないとの回答であった。チラシを使用している 2 施設の受検率は、先行地区が達成している受検率に近い。愛知支部のチラシの勧奨効果に問題はないと思われる。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 発表論文

なし

2. 学会発表

なし

3. その他

啓発資料

全国健康保険協会愛知支部肝炎検査
受検勧奨用チラシ（別添）

啓発活動

- 1) 井上 貴子 平成 31 年度健診・特定保健指導事務説明会及び協会けんぽ推進事業説明会 肝炎ウイルス検査の受検勧奨をお願いいたします
2019 年 2 月 21 日 愛知県名古屋市
主催：全国健康保険協会愛知支部
- 2) 井上 貴子、野尻 俊輔、田中 靖人：平成 30 年度第 2 回都道府県肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会 地域と密着した名古屋市立大学病院の新たな試み～自治体・職域・病診連携を推進する肝炎対策～
2019 年 1 月 25 日 東京都
主催：厚生労働省、肝炎情報センター
- 3) 井上 貴子、後藤 沙弥香、田中 靖人：平成 30 年度肝炎対策地域ブロック戦略合同会議（東海北陸） 地域と一体化する名古屋市立大学病院の新たな試み～自治体・職域・病診連携を推進する肝炎対策～
2018 年 10 月 23 日 石川県金沢市
主催：厚生労働省、肝炎情報センター

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし